

# 事業計画書

9

1. 事業名称 ※ 父親のための育児手帳作成
2. 実施主体
  - 団体名： ※ 特定非営利活動法人子育て支援ぽこら
  - 事業担当課： ※ 松戸市女性センター

## 3. 取り組もうとする課題（テーマ）と事業

課題： 父親と母親が望むようには、父親の子育て参加が進まない。

事業： 乳児をもつ父親が、よりよく子育てに携われる助けとなる育児手帳の作成。

松戸市は男女協同参画の社会作りをめざしているが、私たち市民をとりまく社会状況はその歩みを鈍らせています。

父親は育児休業制度をとりたくても、休みをとれるのは限られた仕事の人だけで企業の9割以上を占める中小企業に勤務する人は育児休業制度などはとれないのが現状です。

民間企業の調査では平均的な夫婦の育児分担は、夫2割・妻8割で理想は夫4割・妻6割です。

また平成18年に行われた松戸市の男女共同参画社会に関する意識調査でも市民のニーズは仕事・子育てを両立するために公的サービスの充実が最も高くなっています。

父親が休めないままでは、育児には父親の協力が不可欠であるにもかかわらず、育児の主たる担い手である母親の負担は減ることはありません。

膨大な育児情報にふりまわされて母親の心の負担は増すばかりで、そのときに頼りたい父親がないのでは、子どもへの虐待や育児放棄へつながっていく恐れもあります。

このような状態になったとき、まわりがフォローするのは難しく時間もかかります。

## 4. 事業目的と成果目標

事業目的： いっしょに育児をする忙しい父親に対し、限られた時間で効果的な育児参加を促すための手帳を作成・配布・普及させます。

作成スタッフ・ボランティアを養成します。

本団体は男女共同参画推進グループの一員として、男女共同参画やワークライフバランスを意識した学習会に参加したり、日頃から父親のための講座を開催し、父親も一緒に参加できるイベントを企画・実行しています。

その結果、父親や、母親のナマの声を聞くことができました。

その声の多くは、

- ・ 子育てにもっと参加したくても仕事中心の生活の中から十分な育児の時間がとることができない。
- ・ もっと、限られた時間で充実した子育てを行いたいということです。

現在の社会情勢では、講座に参加する時間もとれず、やっとなれた休みは文字通り体を休めるために使われています。

母親ももっと育児に参加してほしいとしても、パートナーの状態をみると、無理は言えずにいます。

この手帳の内容は、情報を一方的に受け取り子どもの育ちを評価することではなく、父親が作り上げていく手帳を目指します。ですから、一般的な母子健康手帳とは違ったものとなります。

手帳の具体的な内容として考えられるのは、

- \* 子どもの成長の覚え書（読み聞かせした絵本の記録・お気に入りの遊びなど）を中心として自らが自由に作り上げていく。

例えば

- ・ 母子手帳やよくある育児日記は子どもの歯が生えるとその日付と場所を書き留めておきますが、この手帳では、初めて子どもにかじられて、子どもに歯が生えたことを実感したことを書き込みます。
- ・ 父親と子どもだけで外出した日を記録したり、日記のように活用もできます。

- \* パパ・ママのお互いの伝言コーナーとその回答欄

以上のような内容を中心として、そのほかに育児の情報として

- ・ ママが困っているときのパパの手助け方法
- ・ ちょっとした育児参加の仕方
- ・ いままで本団体が行ってきた学習会・講座内容の紹介
- ・ 子育てに役立つ関係団体の紹介

等が挙げられます。

なお、手帳作成にあたっては本団体メンバーだけでは能力的・時間的限界もあることから、男女共同参画に理解のあるボランティアを養成する必要があります。

目標：この手帳は松戸市内で年間約4千3百人の子どもが生まれています。その父親に受け取ってもらえるように広報、配布に努めます。

これを活用することにより、父親が育児や母親に対し少しでも変化や気づきがうまれるようになります。

いつどこで配布するのか

希望者に対して

出生届けを提出したときが最も効率よく配布できると考えられます。

- ・松戸市内の支所などで配布することを提案します。

## 5. 協働の意義

- ・協働で実施する必要性

官民協働することにより、時間的制約のある父親が安心して育児と仕事のバランスをとることができま

す。  
子育てをはじめたばかりの父親が、手帳で子どもに関する覚え書きと情報をいつでも携帯することにより、母親との育児に情報を共有し、積極的に育児の担い手となることができる、有効なツールとなります。

- ・協働することによる効果・利点

行政が作成・配布すると予算制約等から市民にとって必要な情報やニーズを取り込むのに時間がかかるが、常に育児中の父親・母親に直接接している提供者が行えば、情報・ニーズにフレキシブルに対応することができる。父親手帳はそのニーズに寄与できると考えられます。

これにより、男女共同参画社会に関する市民意識調査（平成18年）の中で、家事・子育てに関する公的なサービス[市民ニーズ]が強く求められていることから、啓発・情報提供を実施する必要がある市にもメリットがあり、男女共同参画を考えながらの子育て支援を目的とする本団体にもメリットが生じることとなります。

## 6. 事業実施の役割分担

### ■ 提案者の役割

手帳作成のボランティア編集スタッフ養成講座の開催と保育。

実行のためのチラシ作成・広報・準備等

この講座には本法人のスタッフも参加の予定です。

作成のための情報収集、編集作業、印刷、配布する際の広報活動を行います。

作成中、必要に応じて同じ男女共同参画推進グループの他団体の助言もうけます。

### ■ 市の担当課の役割

手帳の信頼性と公共性をうることができます。

男女共同参画の視点をもった情報の提供と助言（講座・手帳編集）

手帳の配布先の確保

養成講座の内容と講師の紹介と助言

養成講座の講師役（男女共同参画等について）

## 7. 事業の具体的なスケジュール

・手帳作成ボランティア養成講座をはじめに行います。

4月 運営体制準備期間・ 養成講座準備の会議 2回

5月～7月 手帳作成ボランティア養成講座 講座中は毎回準備・反省会の会議 計5回

講座：月2回合計5回実施する（5月1回 6月、7月2回計5回の講座）

内容：1. 男女共同参画

2. ワークライフバランス

3. 講師による学習会とグループワーク

4. 現在の子育ての現状などについて

5. 手帳作成のための実際的な学習など

講師としては

1. 2回は女性センター職員の方

3回目 外部講師

4回目 子育て支援を実際に行っている人

5回目 市役所内で冊子作りについて教えていただける方

時間：1回約2時間

保育：希望者にたいして行います。

募集人数：20名

・手帳作成

8月～11月 情報の収集・制作 8月から月2回の編集会議

11月～12月 修正

12月～1月 印刷 印刷業者選びは、なるべく安価なところで印刷を予定していますが、どうしても見つからないときは、製本作業を自分たちで行う可能性もあります。

2月～3月 配布 この時期に広報活動も行う

毎年この時期に行われる子育てフェスティバルでの広報活動も有効だと考えます。

3月 反省会

4月 5月 7月 8月 11月 12月 1月 2月 3月

準備	養成講座	作成		修正	印刷	配布
----	------	----	--	----	----	----

## 8. 将来の展開

・この事業で得られる成果

父親手帳を活用することにより、男女共同参画、ワークライフ・バランスを考えた育児を行う助けとなり、母親が主たる育児従事者である負担を減らすことができると予想されます。

・モデル事業としての波及効果

男女共同参画、ワークライフ・バランスの考えをもちこんだ情報を受け取るだけでなく、子どもの成長にあわせて手帳を自ら作り上げていくことができます。

将来には協働事業終了後も女性センターと協力し、改訂版を作りながら子どもが生まれた父親にもれなく配布できるようにしていきたいと考えます。

1年目は手帳配布まで行いますが、特にボランティア養成講座・手帳作成に力をいれます。

2年目以降は世の中の進捗状況が早いので内容の毎年更新で新しい情報を提供します。また手帳の普及、配布を中心に活動します。

3年目に実際に手帳を持つ人が増えて有効活用されるようになることを目標とします。

## 事業の予算概要

【社会資源持ち寄り（収入）】

（単位：円）

提案者	（自己資金） 会費	金額	積算内訳
			35,000円
	自己資金合計（a）	35,000円	
	労力換算額計（b）	156,000円	労力換算計算書のとおり
市	負担金申請額（c）	177,300円	
	資金合計額（d）（a+c）	212,300円	事業費（g）と同額

【負担金申請額（c）チェック項目】

1. 対象となる経費（e）欄の90%以内
2. 1事業あたり50万円以内
3. 自己資金（a）欄に労力換算額（b）欄を加えた額以下であること。

【事業費の積算（支出）】

	項目	金額	積算内訳
負担金の交付対象経費	養成講座講師料	30,000円	1人分
	保険	3,000円	1人1回17円延べ77人
	手帳印刷代	135,000円	B6サイズモノクロ20頁表紙付
	チラシ代	5,000円	印刷用紙・製本代（約4,000部）
	消耗品	2,000円	
	保育料	22,500円	保育者2名、5回分
	対象となる経費合計額（e）	197,500円	
その他経費	スタッフ交通費	12,800円	1回200円64回分
	お茶代	2,000円	
	その他経費合計額（f）	14,800円	
	事業費（g）（e+f）	212,300円	収入合計額（d）と同額

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にしてください。

# 労力換算計算書

(単位：円)

	項 目	換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間×回数×500円
	打ち合わせ	24,000円	2人×2h×12回×500円
	養成講座準備と打ち合わせ	30,000円	4人×3h×5回×500円
	手帳作成編集会議	48,000円	6人×2h×8回×500円
	広報活動	48,000円	6人×2h×8回×500円
	反省会	6,000円	6人×2h×1回×500円
	合計 (b)	156,000円	